

施策
11

分野別政策3 「暮らし」を守る・快適にする
防災

目指すまちの姿

災害による被害を地域の支え合いや民間企業等との連携で
最小化し、誰もが安全・安心に暮らし続けられるまち

発生が懸念される大規模地震や津波、豪雨等の自然災害による被害を防災・危機管理体制の充実や地域住民同士の支え合い・助け合い、企業等との連携により最小限におさえるなど、誰もが地域で安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。

施策に関する成果指標

自主防災組織の組織率（世帯按分）



施策に関する主な泉南市の取組状況・背景

- 平成30（2018）年に発生した台風21号では、市内でも大規模停電や建物被害等が発生しました。
- 南海トラフ地震の被害を想定し、他自治体との連携を構築しています。
- 自主防災組織の設立を支援することで、地域における防災の拠点づくりを行っています。
- 民間住宅の耐震化の促進や避難行動要支援者の名簿作成等、災害被害の軽減に向けた取組を行っています。

施策に関する主な課題

- 大災害発生時に対応するため、さらなる防災協定の締結や庁内の連携体制の構築が必要です。
- 地域全体での防災体制の構築、各家庭での災害への備え等の意識向上が必要です。

関連する市民の
意見・アイデア

地域が主体的に防災訓練や防災リーダーの育成を行うことで、災害に強いまちになったらいいなあ



関連するSDGs



実施する主な取組

①防災体制の充実

- ◇大災害発生時に迅速な地域復興につなげることができるよう、事前の計画づくりや庁内連携体制を構築します。
- ◇避難所・備蓄拠点等の整備、庁内緊急出動体制の強化を図り、災害に備えます。
- ◇府内外の市町村や企業、関係団体等との防災協定の締結を促進します。
- ◇SNSの活用等、市民に対する防災情報の伝達手段の拡充を行います。

②災害に強い地域づくり

- ◇市民の防災意識を高めるため、各種講座や広報等による啓発、市民と行政との協働による防災訓練等の充実を図ります。
- ◇自主防災組織のさらなる設立支援や、その活動を支援するとともに、地域における避難行動要支援者の個別避難計画作成を促進します。
- ◇民間住宅の耐震化を促進するため、市民の周知啓発を図ります。

関連する主な
個別計画

- ◇泉南市防災計画
- ◇泉南市強靱化地域計画



防犯・交通安全・消費者トラブル対策

目指すまちの姿
犯罪と交通事故が少なく、
子どもから高齢者まで安心して生活を送れるまち

全国的に多様化・凶悪化する犯罪や消費者問題、交通事故等から、子どもから高齢者まで、一人ひとりの生命と暮らしを守り、被害に遭う人を最小限におさえることができる、市民、地域、行政の連携による安全・安心なまちづくりに取り組みます。

施策に関する成果指標

刑法犯罪種及び手口別発生市区町村別認知件数（大阪府犯罪統計）



施策に関する主な泉南市の取組状況・背景

- 青色防犯パトロールや交通安全施設の整備、防犯カメラ及び防犯灯の設置等、関係団体との連携による防犯・交通安全対策を実施しており、犯罪認知件数と人身事故発生件数共に減少傾向である一方、車両相互の事故は増加傾向にあります。
- SNSを悪用した消費者トラブル等に対し、消費生活相談員や行政相談員による相談や、弁護士による無料法律相談を実施していますが、問題が多岐にわたり複雑化しています。

施策に関する主な課題

- 地域住民や関係団体等との連携による地域における子どもの見守り体制構築へのさらなる支援が必要です。
- 地域の理解を踏まえた防犯カメラ及び防犯灯の増設並びに適切な維持管理手法の確立が必要です。
- 通学時に起こりうる事件や事故への対策が必要です。
- 歩行者優先となる道路整備を行っていくとともに、ドライバーのマナー向上が必要です。
- 年々複雑・多様化する相談に加えて、成人年齢引き下げに伴う若年層の消費者トラブル増加への対応が必要です。



関連する市民の意見・アイデア

防犯カメラや防犯灯を増やしたり、歩行者や自転車にもやさしい安全なまちになったらいいなあ

関連するSDGs



実施する主な取組

①防犯対策の充実

- ◇地域の関係団体等との連携による子どもの見守り活動等のさらなる支援を行うとともに、防犯カメラ及び防犯灯の設置、適切な維持管理を行うための仕組みづくりに取り組みます。
- ◇市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、地域の自主防犯活動を支援します。

②交通安全対策の推進

- ◇地域の関係団体等との連携により、危険箇所の点検等、通学路の安全対策の強化を図ります。
- ◇歩行者優先社会づくりに向けた啓発や、交通安全施設の整備等、歩行者の安全確保を図ります。

③消費者トラブル対策の推進

- ◇市民一人ひとりの消費者トラブルの意識の向上を図るとともに、関係機関との連携により、見守りネットワークの構築に向けて取り組みます。
- ◇消費生活相談員や弁護士、行政書士等の専門家による相談体制の充実を図るとともに、消費生活に関する講座及び情報発信、啓発を行います。

関連する主な個別計画

◇泉南市通学路交通安全プログラム



環境保全・脱炭素・エネルギー

目指すまちの姿

ごみの排出が抑制され、河川や森林に配慮した環境にやさしいまち

海・山・川等、本市の豊かな自然を守りながら、「2050年のカーボンニュートラル」を視野に入れた地球温暖化対策やエネルギー対策、ごみの減量化等、環境負荷の少ない暮らし方を浸透させることで、地球にやさしいまちづくりに取り組みます。

施策に関する成果指標

一人一日あたりのごみ排出量（家庭系ごみ）



施策に関する主な泉南市の取組状況・背景

- ごみの排出量、一人一日あたりごみ排出量共に横ばい傾向となっており、ごみの分別収集の強化（7分別）や、生ごみ処理機の導入促進等の取組を行っています。
- 山地美化キャンペーンや海岸美化活動等、環境保全に取り組んでいます。
- 国では、令和3（2021）年に新たな地球温暖化対策計画が閣議決定され、令和12（2030）年度に平成25（2013）年度比で46%減とする温室効果ガスの削減目標や、目標達成のために国、地方公共団体が講ずべき施策について示されています。

施策に関する主な課題

- 分別区分の調整や、ごみ出しに不便を感じている高齢者等のごみ出しに関するニーズへの対応、不法投棄、持ち去りごみ等への対策が必要です。
- ため池や里山の保全活動を周知・啓発し、さらに広げていく必要があります。
- 温室効果ガス排出量の削減目標に向け、地球温暖化対策の推進を図るなど、脱炭素社会実現に対する取組が必要とされています。

関連する市民の意見・アイデア

環境に配慮した暮らし方が浸透した地球にやさしいまちになったらいいなあ



関連するSDGs



実施する主な取組

①環境保全の推進

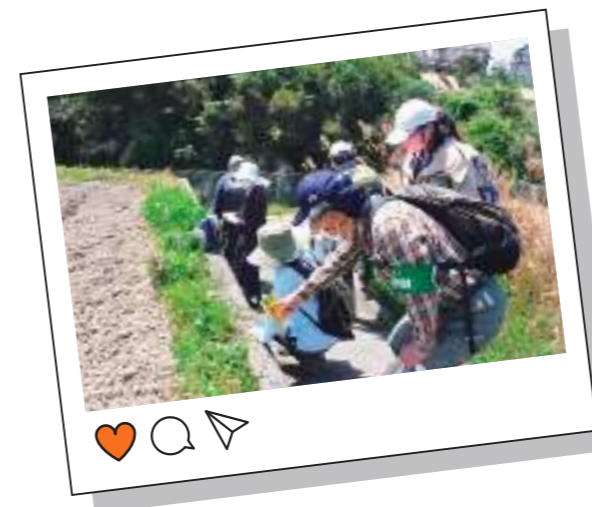
- ◇ため池や河川の改修・保全や管理を適切に行います。
- ◇市民やNPO団体等と協働し、里地里山の保全と活用を推進します。
- ◇ごみの収集方法や収集コースの見直しを行い、ごみ収集を適切に行います。
- ◇環境調査の実施や市民・企業と協力した公害の未然防止を図るとともに、水質保全のための取組を推進します。

②脱炭素社会の実現

- ◇ごみの排出抑制に向け、市民が環境にやさしい消費行動に取り組めるよう、啓発を図ります。
- ◇3R（廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化）の普及を図るとともに、資源ごみの分別の徹底を図ります。
- ◇企業等と連携しながら、ごみ処理場の効率的な運転と適切な維持管理を行います。
- ◇自動車から出る二酸化炭素排出量削減のため、公用車の電動自動車導入や市民に対する自転車活用を推進します。
- ◇公共施設への再生可能エネルギーの導入や市民への啓発等、利用促進を図ります。

関連する主な個別計画

- ◇一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
- ◇一般廃棄物（ごみ）処理実施計画
- ◇泉南市自転車活用推進計画
- ◇泉南市地球温暖化対策実行計画



道路・交通

目指すまちの姿

主要拠点にアクセスしやすい交通網が整備され、
誰もが快適・安全に移動しやすいまち

様々な拠点に行きやすく、市民生活に身近な道路の計画的な整備や、地域の特性に合った公共交通の維持・発展により、誰もが快適・安全に移動できるまちづくりに取り組みます。

施策に関する成果指標

コミュニティバス利用者数



施策に関する主な泉南市の取組状況・背景

- 交通渋滞解消や災害時の交通機能維持のため、都市計画道路の整備や無電柱化等を進めるとともに、身近な移動手段として、自転車の活用を推進する取組を進めています。
- 老朽化した道路構造物の急増に備え、長寿命化計画に基づき、定期点検や修繕を行っています。
- コミュニティバスの路線の見直しやダイヤ改正、高齢者や交通弱者向けの補助金制度等を行っています。

施策に関する主な課題

- 交通渋滞解消や安全性確保のため、道路のさらなる効果的な整備が必要です。
- 自転車走行空間の整備と自転車の活用を市民に対し周知・啓発していくことが必要です。
- 老朽化した道路構造物の効率的な維持管理が必要です。
- コミュニティバスの路線の見直しやダイヤ改正等により、さらなる利用促進が必要です。
- 山側の交通弱者の支援や公共施設、観光名所を巡回する新たな公共交通の検討が必要です。
- 市域内の経済をより循環させるため、関西国際空港へのアクセス性の向上が必要です。

関連する市民の意見・アイデア

公共交通を便利にすることで車による移動を減らすなど、移動が便利になって、環境保全にもつながったらいいなあ



関連する SDGs



実施する主な取組

①道路環境の整備

- ◇拠点となる市役所や駅周辺において、安全で快適な徒歩・自転車・自動車の移動環境の確保を図ります。
- ◇拠点間及び地域間をアクセスしやすい道路ネットワークの形成に取り組みます。
- ◇ICTやAI等の新技術を活用し、メリハリの効いた道路メンテナンスを実施します。

②多様な交通手段の利用・導入促進

- ◇コミュニティバスについて、利用者の意見を踏まえ、路線の見直しを行うとともに、乗車割引制度の拡充を検討します。
- ◇小型バス等を活用したデマンド型交通やカーシェアリングサービス等、多様な交通手段の導入を検討します。
- ◇拠点間を連携する交通手段の一つとして、自転車ネットワークの形成を図ります。

③広域ネットワークの構築

- ◇近隣府県及び市町村と連携、協力し、関西国際空港を中心とした広域アクセス網の早期整備を求める要望活動を促進します。
- ◇リスクマネジメントの観点から関西国際空港への代替アクセスとなる南ルートの実現を訴え、実現要望及び広報活動を積極的に展開します。
- ◇紀北地域や広域拠点地域との連携を強化する広域幹線道路の整備を促進します。

関連する主な個別計画

- ◇泉南市自転車活用推進計画
- ◇泉南市都市計画マスタープラン
- ◇橋梁長寿命化修繕計画
- ◇道路舗装の個別施設計画



下水道・生活環境・住まい

目指すまちの姿

地域特性をいかした土地利用が促進され、自然環境とも調和した魅力的なまちなみを有し、多様なニーズに対応した快適で住みやすいまち

下水道等、生活基盤の強靱化や維持管理を計画的・効率的に進めるとともに、計画的な土地利用により、自然環境と調和しつつ、利便性が高く魅力あるまちづくりに取り組みます。

施策に関する成果指標

拠点徒歩圏の新築件数の割合（拠点徒歩圏建築確認数 / 全建築確認数）



施策に関する主な泉南市の取組状況・背景

- 下水道の整備により普及率は年々上昇していますが、大阪府下では依然として低い水準です。
- まちなみ景観の向上とあわせ、主要駅及び駅周辺のバリアフリー化を進めています。
- 老朽化した市営住宅や公園施設の更新、補修による長寿命化を図っています。
- 空き家の適正管理や利活用に関する啓発を実施していますが、空き家数は増加傾向にあります。

施策に関する主な課題

- 良好な生活環境の確保のため、下水道のさらなる普及率向上に取り組むことが必要です。
- 平坦部や幹線道路付近の農地の都市的利用への転換が必要です。
- 駅周辺を活性化していくため、コンパクトシティ形成のビジョンが必要です。
- 市内に点在する老朽化した公園の利活用についての検討が必要です。
- 未耐震の市営住宅の解消が必要です。
- 増加する管理不全の空き家への対策が必要です。

関連する市民の意見・アイデア

子どもや市民が関わって遊び場や公園の整備ができればいいなあ



関連するSDGs



実施する主な取組

① 下水道の整備

- ◇下水道施設の計画的な維持管理と更新を行うとともに、効率的な下水道事業を進めます。
 - ◇下水道使用料の定期的な見直しや下水道普及率の向上を図り、安定的な運営を行います。
- ※水道事業については、平成31年4月から大阪府広域水道企業団に統合されました。

② 都市再生の推進

- ◇コンパクト・プラス・ネットワーク（地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくり）の考え方に基づき、まちづくりを推進します。
- ◇農地等の有効活用を図るため、適切な土地利用の転換等を促進します。
- ◇公園の再編・集約化やバリアフリー化等、公園の魅力向上を図ります。
- ◇拠点集約型と幹線道路沿道型の土地利用を地域の特性に合わせて促進します。
- ◇公的不動産の有効活用や公民連携を推進し、多様なニーズに対応した都市再生を推進します。

③ 住まいの提供

- ◇市営住宅の計画的な改修や建替え等、安心して暮らせる住まいの提供を図ります。
- ◇空き家所有者による適正管理、空き家バンク登録の促進等、空き家対策に総合的に取り組みます。

関連する主な個別計画

- ◇泉南市都市計画マスタープラン
- ◇道路舗装の個別施設計画
- ◇泉南市自転車活用推進計画
- ◇泉南市下水道事業経営戦略
- ◇泉南市営住宅長寿命化計画
- ◇泉南市公園施設長寿命化計画
- ◇泉南市空家等対策計画

